



適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使 用 回 数	使用方法	イミシアホス を含む農薬の 総使用回数	
だいこん	ネグサレセンチュウ	10～20kg/10a	は種前	1回	全面土壌混和	1回	
にんじん	ネコブセンチュウ	15kg/10a					
ほうれんそう	ネコブセンチュウ テンサイシストセンチュウ	20kg/10a	は種又は定植前				
はくさい	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ						
キャベツ	ネグサレセンチュウ テンサイシストセンチュウ		定植前				
レタス いちご	ネグサレセンチュウ						
なす トマト ミニトマト つるむらさき	ネコブセンチュウ	15～20kg/10a					
メロン スイカ ピーマン きゅうり							
にがうり	ダイズシストセンチュウ	20kg/10a	は種前			2回以内(定植 前の土壌混和 は1回以内、生 育期の土壌灌 注は1回以内)	
だいず			は種又は定植前				
えだまめ							
オクラ	ネコブセンチュウ	15～50kg/10a	植付前				
かんしょ	ネグサレセンチュウ	20～50kg/10a					
	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ ジャガイモシロシストセンチュウ	20kg/10a	植付前				
		ジャガイモシストセンチュウ			15～20kg/10a		
		10kg/10a					
やまのいも	ネグサレセンチュウ	20kg/10a	植付前 又は 定植前		植溝土壌混和		1回
さといも							
きく	ネコブセンチュウ ネダニ類	20kg/10a	定植前	全面土壌混和			
花き類・ 観葉植物 (きくを除く)							
にら	ネダニ類	10kg/10a	定植前	作条土壌混和			
らっきょう		5kg/10a	生育期 但し収穫 30日前まで	2回以内	土壌表面散布		
みしまさいこ	ネコブセンチュウ	20kg/10a	は種前	1回	全面土壌混和	1回	





効果・薬害等の注意

- 全面土壌混和で使用する場合には、所定量の薬剤をほ場全面に均一に散布し、土壌中に均等に分布するようによく混和する。
- 散布が不均一であったり、混和が不十分な場合には、効果不足や薬害を生じるおそれがあるので注意する。
- 土壌が乾燥している場合は、処理後に十分散水する。
- カラー、花はすに使用する場合は、湛水状態で使用しない。また、使用后14日間は入水しない。
- ミツバチ及びマルハナバチに対して影響があるので、ミツバチ及びマルハナバチの巣箱及びその周辺にはかからないようにする。
- 蚕に対して、長期間毒性があるので、桑園に飛散しないように注意する。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 空袋等はほ場などに放置せず、環境に影響を与えないよう適切に処理する。

安全使用上の注意

- 誤食などのないように注意する。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 使用の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。
作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。

治 療 法…有機リン剤の解毒剤：硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤。

魚毒性等…該当なし

保 管…密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼・乾燥した所。

